

歴史書

11

2008
No. 180



通信

森のなかの唐／佐藤 全敏

歴史書新刊ニュース〈9・10月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈9・10月〉

歴懇リバイバル2008フェア書目／参加店一覧

歴史書懇話会

森のなかの唐

佐藤 全敏

(信州大学准教授)

ただす
糺くらしの森は夏でも幽い。

京都は洛北、賀茂川と高野川の合流する三角地帯に糺くらしの森はある。この森の奥深くに、賀茂御祖神社が鎮座する。いわゆる下鴨神社である。はるか遠く、東の方からかけつけた者にも、この森はひとしく静けさをあたえてくれる。足もとを流れるせせらぎは、おどろくほど澄んで、冷たい。

もともと、この森は5月15日ともなると、京都三大祭の一つ、葵祭（賀茂祭）が挙行されて、その雅びな王朝風俗を見物しようとする人々であふれかえる。人いきれのなか、木もれ日をうけた牛車ぎしやがぎいぎいと進む姿は、初夏の京都の風物詩という。

ところで、この葵祭の日に、下鴨神社の神様がなにを召し上がっているかご存知だろうか。現在公開されているさまざまな写真や資料によると、この日、神様にはつぎのような御膳しんぜん（神饌）がささげられている。

まずは前菜である。胡麻油で揚げたお菓子の餡餠あんぺいと糰餅もち、そして昆布と長いも、これにお酒である。以上を初献しよせんという。餡餠あんぺいはまるで餃子のようなかたちをしている。

次にメインの御膳しんぜんであるが、これが見慣れない者の目にはいささか奇

妙に映る。

高く大きな円柱のように盛り固められたご飯。高く、しかも幾何学的なパターンをもって積み重ねられた魚のぶつ切りが3皿。それに汁物、餅、のし鮑あわび、丸ごとの大きな海老など7皿。これにお塩とお酒がつく。これらが朱塗りの台盤（テーブル）にのせられる。とにかく、高く幾何学的に盛られたご飯と魚のぶつ切りに目が奪われる。なお、この御膳の下にはお盆がしかれ、鯛や鯖など生魚4種とかつお節がのせられている。

そして最後にデザートとして、栗やおこしなどお菓子が4品。後献こうけんという。これで御膳は締めくくられることになる。

さすが都の守護神、その食卓は実に豪勢である。それにつけても、ご飯の盛りつけといい、魚の盛り方といい、そのありさまは、見慣れぬ者にはどうしても異様にみえる。いにしえの神様は、やはり今のわれわれとはいささか違った感覚をお持ちだったようである。

だが、実は神様にとっても、この食卓は、当初はとまどうものであったらしい。というのも、これらは実は唐風のものだからである。

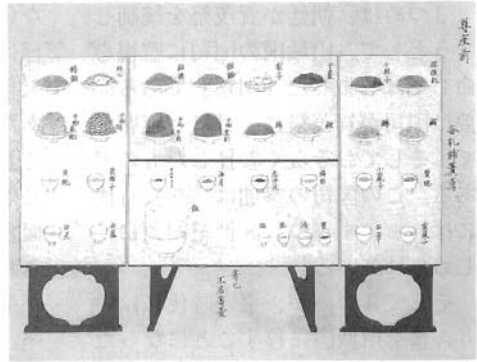
まず、前菜の餛飩と饅餅。これらは中国から伝わった、いわゆる唐菓子である。油で揚げたお菓子など、ある時期まで日本にはなかった。造形的にも味覚的にも、相当刺激の強い食べ物だったはずである。

次にご飯と魚の盛り方。これらについては論より証拠、平安貴族たちが唐風にひらいたパーティーのテーブルの様子と見比べてもらえれば、一目瞭然である(挿図)。見てのとおり、ご飯や魚の盛りつけ方が下鴨神社とそっくりである。その高く盛る様子は、唐の壁画にたしかに見ることができる。このパーティではスプーンまで用いられていたが、それはおもに、この高く盛られたご飯を食べるためだった。

それから朱塗りのテーブルも実は唐風らしい。ごく最近の研究によると、朱塗りの食器やテーブルは、平安時代のはじめ頃、唐を意識してさかんに使われはじめたものだという。

とはいっても、いまの下鴨神社の神饌が完全に唐風かと思ったら、それは違う。スプーンがないし、なにより調理されていない生魚が御膳の下に加えられている。長い年月のなかでの変化も、十分考慮する必要があるだろう。

だがそれでも、あきらかにそれは唐風の食卓を原型として形づくられているように見える。これからきちんとした調査を進める必要があるけ



(『類聚雑要抄』巻第一下(国立歴史民俗博物館所蔵))

れども、いにしえはもっと唐風であった可能性すらある。

糺の森の神様は、その昔から森の奥で、唐風の食卓にむきあっていたのである。

それにしても、どうしてこんなことが起こったのだろうか。ここで思いきって、いま胸中にある仮説を述べてみようと思う。ただ、このことを聞いていただくためには、ほんの少しだけ、賀茂祭の構造を知っておく必要があるので、はじめにそれを述べておきたい。

古代において、賀茂祭は、大きくみれば3つの要素からなっていた。

1つは、はるか昔の7世紀以前から、賀茂郡主一族が氏祭としておこなっていた、本来の賀茂祭である。山城国最大のこの祭礼には、多くの民衆がおしよせ、となりの大和国にあった朝廷は、そのただならぬ熱気に目をひかせていた。関係行事を含めると、この本来の賀茂祭は前後1ヵ月くらい続いたとみられている。

2つめは、朝廷が賀茂祭を統制しようとして、山城国の国司に監視を命じてはじまった「国祭」である。要は国司が賀茂祭に一日ほど臨席して、そしておそらく参拝したものである。この国司の参加は、奈良時代にはいつてすぐの、8世紀初頭にはじめられている。

そして3つめが、平安時代にはいり、都を山城国に移すことになった朝廷のはじめた行事である。賀茂祭中のある一日、天皇は使者（勅使）を派遣して、日ごろのご加護へのお礼を述べ、ささげものを献上した。9世紀初頭、嵯峨天皇がはじめたものである。この嵯峨天皇は、あわせて、賀茂の神につかえる皇女をおいた。斎王という。賀茂祭中のある一日、勅使の行列と斎王の行列が一条大路で合流し、そして神社にむかう様子は、これ以降、都最大の見せ物となる。これがいまの葵祭である。

さて、この嵯峨天皇、唐をモデルにデザインされた日本の律令国家システムを、とりわけ大胆に唐風化させた天皇として知られている。勅撰漢詩文集も、唐をモデルとする格・式の編纂開始も、みんな嵯峨天皇の時代のことであった。

もうおわかりであろう。唐風の食卓にわれらが神様がむきあうのは、葵祭の日、すなわち勅使派遣の日のことであった。嵯峨天皇の唐風化の志向は、賀茂祭の神饌のあり方にまでおよんだのではないか。そんなふうに想像の翼が羽ばたいてしょうがないのである。証拠になるかわから

ないけれど、葵祭以外の日には、神様は違う食卓にむかっている。嵯峨天皇は、賀茂社を国家的にまつるにあたり、その神饌を唐風のものにしてしまったのではないだろうか。もしそうだとすれば、神様もそうとう面食らったに違いあるまい。いってみれば、唐をめざす日本の律令国家が進展した果ての、唐風神饌の誕生…。

ひるがえって、その嵯峨天皇、自分はどんな食卓についていたのか。そう、今年2月に刊行した拙著『平安時代の天皇と官僚制』（東京大学出版会）の第三部では、そのことを論じたのだった。

平安時代初期、天皇は椅子のような腰かけにすわり、朱塗りのテーブルの上にならべられた銀の食器にむきあっていた。ご飯や魚の盛りつけ方は、やはり高く幾何学的で、銀のスプーンや箸をつかってこれを食べた。

だが、こうした天皇の食事は、同じ古代でも、あるとき劇的に変化していく。どのように？ それはなぜ？ この続きはぜひ拙著でご確認いただければと思う。

それにしても、賀茂の神様、あのご飯をうまく召し上がられているのだろうか。静けさのなかにも、スプーンをよこせとのお声が、森のどこからか響いてきそうである。

（表紙写真） 下鴨神社、葵祭の日の神饌（『芸術新潮』提供）

新刊ニュース

9・10月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

誰でも読める日本現代史年表

ふりがな付き

吉川弘文館編集部編

菊判 406頁 4,410円

吉川弘文館〔10月刊〕

読みがわからない人名や用語など、記事本文の漢字すべてにふりがなを付けた年表。1945～2004年をおさめた、シリーズ最終巻。

978-4-642-01446-5

史林 第91巻第5号

史学研究会（京都大学大学院文学研究科内）発行

A 5判 160頁 1,200円

東京堂出版〔9月刊〕

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として数々の論考を送り出してきた『史林』が待望の市販化！ 年6冊。978-4-490-30647-7

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

考古学でつづる世界史

市民の考古学6

藤本 強著

四六判 184頁 1,890円

同成社〔10月刊〕

人類誕生から西はローマ、東は唐までの歴史を考古学の成果に基づき、東西の違いや住み方の段階分けを機軸にダイナミックにつづる。978-4-88621-458-4

志波城・徳丹城跡—古代陸奥国北端の二城柵—

日本の遺跡31

西野 修著

四六判 200頁 1,890円

同成社〔9月刊〕

蝦夷追討の橋頭堡たる志波城は水害により移転し徳丹城となる。兄弟柵とも言われるこの二城柵を考古学的に分析し、その特性を究明。978-4-88621-457-7

原の辻遺跡—壹岐に甦る弥生の海の王都—

日本の遺跡32

宮崎貴夫著

四六判 164頁 1,890円

同成社〔10月刊〕

魏志倭人伝に記載される一支国（一志）の王都であり、大陸との交流の拠点であった本遺跡について、集落の変遷をとらえつつその特性を解説する。978-4-88621-462-1

古墳文化の成立と社会

古代日本の陵墓と古墳1

今尾文昭著

A 5判 600頁 予価6,500円

青木書店〔10月刊〕

前方後円墳、その統一性により強大な権力の象徴とされてきた。だが、本書では地域古墳の個別的特徴を分析し、古墳文化の多様性・階層関係の実像に迫る。978-4-250-20813-3

生産の考古学Ⅱ

倉田芳郎先生追悼論文集編集委員会編

B 5判 656頁 15,750円

同成社〔9月刊〕

「生産」をテーマとする考古学研究を中心に40余名の執筆者の力作原稿を集積。故倉田芳郎駒澤大学教授ゆかりの人々による論文集。978-4-88621-456-0

弥生社会のハードウェア

弥生時代の考古学6

設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編

B 5判 250頁 予価5,250円

同成社〔10月刊〕

弥生研究の基軸となる生産と流通、身分・階層や戦争をキーワードに、研究の到達点と課題を示し、新たな考古学資料に基づいて詳細に復元。978-4-88621-459-1

文学のなかの考古学

佛敎大学廣陵文化叢書19

門田誠一著

四六判 308頁 2,415円

思文閣出版〔10月刊〕

小説や古典芸能などに描写された考古学的要素や、それらの背景となった歴史のあるいは文化的な背景について、考古学的に接近を試みる。 978-4-7842-1430-3

古代の立柱祭祀

植田文雄著

四六判 208頁 2,310円

学生社〔10月刊〕

古代遺跡に立つ巨大柱は何か？ 古墳に柱が立っていたか？ 心御柱、うず柱、寺社の幢竿、トーテムポールなど、日本と世界の立柱信仰の謎を解く。 978-4-311-20323-7

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

イラストでみる 日本史博物館 第2巻

服飾・生活編

香取良夫著・画

B5判 280頁 予価6,090円

柏書房〔10月刊〕

日本史上のさまざまなヒトとモノを描く歴史図録。超人的な模写・筆写と懇切丁寧なキャプションで編んだ、小学校から使えるビジュアル歴史学習教材。 978-4-7601-2714-6

蝦夷と東北戦争

戦争の日本史3

鈴木拓也著

四六判 304頁 2,625円

吉川弘文館〔10月刊〕

古代国家が、蝦夷を武力で制圧した「征夷」。阿豆流為と坂上田村麻呂の戦いなど、幾多の戦乱を検証。蝦夷支配の真実を描き出す。 978-4-642-06313-5

古代の日本

直木孝次郎 古代を語る1

直木孝次郎著

四六判 306頁 2,730円

吉川弘文館〔10月刊〕

日本の古代国家の形成過程を、都城の変遷などを通して探る。歴史研究70年の著者が描いてきた古代史の全貌を示す、シリーズ序章。 978-4-642-07882-5

起源の日本史 前近代篇

阿部 猛著

四六判 204頁 1,890円

同成社〔10月刊〕

衣食住や行事・信仰から歴史的用語など、古代から近世に起源をもつとおもわれる言葉・事象の起源をさぐり、典拠を明らかにしつつ解説。 978-4-88621-460-7

吾妻鏡必携

関 幸彦・野口 実編

四六判 344頁 3,780円

吉川弘文館〔9月刊〕

鎌倉時代の基本史料を読み解く上で不可欠な訓読法、用字や歴史用語などの基礎知識を満載。座右必備の『吾妻鏡』百科の決定版。 978-4-642-07991-4

南北朝遺文 東北編 第1巻(全2巻)

第1回配本

大石直正・七海雅人編

A5判 346頁 16,800円

東京堂出版〔9月刊〕

南北朝時代の奥羽国・出羽国に関係する文書を取録。本書は元弘3年・正慶2年(1333)から貞和2年(正平元)・興国7年(1346)の883通を取録。 978-4-490-30655-2

現代語訳 吾妻鏡 4

奥州合戦

五味文彦・本郷和人編

四六判 240頁 2,100円

吉川弘文館〔9月刊〕

源義経をめぐる京都・平泉・鎌倉間の駆け引き。家督を継いだ泰衡は義経を自害に追い込むが、頼朝は泰衡を許さず自ら奥州に進発する。 978-4-642-02711-3

よくわかる古文書教室

江戸の暮らしとなりわい

佐藤孝之監修

A5判 240頁 2,520円

吉川弘文館〔9月刊〕

こんな古文書のテキストを待っていた！ 江戸の人びとの姿と生活を、くずし字解説のヒントを手がかりに34点の古文書から読みとく。 978-4-642-07994-5

日本古代の王宮と儀礼

西本昌弘著

A 5判 408頁 9,975円

塙書房〔9月刊〕

978-4-8273-1220-1

日本古代の王都・王宮の構造やその変遷を、政務・儀礼の方式やその変化と関わらせながら検討する。

古代瀬戸内の地域社会

古代史選書1

松原弘宣著

A 5判 354頁 8,400円

同成社〔10月刊〕

978-4-88621-455-3

律令国家の地方行政制度のなかに瀬戸内地域はどのように組み込まれていったのか？ 在地の地方豪族に焦点をあて、その実態を解明する。

鎌倉時代の権力と制度

上横手雅敬編

A 5判 360頁 6,825円

思文閣出版〔9月刊〕

鎌倉時代史をリードしてきた編者と若手研究者により結成された鎌倉時代研究会。その成果を公家政権・鎌倉幕府・宗教と寺社の3部構成にてまとめる。 978-4-7842-1432-7

翁の生成

渡来文化と中世の神々

金賢旭著

A 5判 250頁 5,250円

思文閣出版〔10月刊〕

978-4-7842-1411-2

中世の翁信仰の生成過程を諸縁起や史料から読みとり、そこに反映された渡来文化の姿を見いだす。中世における日韓文化交流の新たな相貌を描く。

日本近世の村夫役と領主のつとめ

木越隆三著

A 5判 420頁 10,500円

校倉書房〔10月刊〕

有儀夫役に注目し、領主・村・百姓の相互関係から、百姓夫役の負担構造を考察し、さらに銀や米で納付された公儀役は誰が負担したのかを論考。 978-4-7517-3990-7

徳川将軍家領知宛行制の研究

思文閣史学叢書

藤井讓治著

A 5判 400頁 7,875円

思文閣出版〔9月刊〕

領主社会での徳川将軍家と大名との関係を成立させる領知制。領知朱印状そのものに注目し、徳川将軍家の領知宛行制の形成過程とその特質を明かす。 978-4-7842-1431-0

近世朝廷社会と地下官人

西村慎太郎著

A 5判 336頁 9,975円

吉川弘文館〔9月刊〕

朝廷儀式の参仕および儀式調度品の調進を行なった下級官人の集団＝地下官人。組織と構造的展開、身分的特質などからその実態に迫る。 978-4-642-03433-3

近世の宗教と社会 3

民衆の「知」と宗教

澤 博勝・高埜利彦編

A 5判 276頁 9,765円

吉川弘文館〔9月刊〕

専業の思想家や宗教者でもなく、また支配層でもない、一般民衆の知と宗教の関わりはいかに考察できるか。その方法論を問う論考8編。 978-4-642-03431-9

それでも江戸は鎖国だったのか

オランダ宿 日本橋長崎屋 歴史文化ライブラリー262

片桐一男著

四六判 200頁 1,785円

吉川弘文館〔10月刊〕

鎖国時代の江戸にはオランダ人の定宿、長崎屋があり、異文化交流のサロンであった。長崎屋の全貌と、そこに集う多くの文化人を描く。 978-4-642-05662-5

幕末維新使節団のイギリス往還記

ヴィクトリアン・インパクト

松村昌家著

A 5判 300頁 8,190円

柏書房〔9月刊〕

幕末維新に欧米に派遣された使節団。本書は、英国側に残された資料から、主に英国内における日本使節団の足跡を丹念に紡ぎだした初めての研究。 978-4-7601-3443-4

条約改正交渉史

1887～1894

大石一男著

A 5判 352頁 6,825円

思文閣出版〔10月刊〕

明治期の条約改正について、日本側の交渉戦略・戦術、交渉相手の欧米列国の動向、日本国内における諸個人・集団の協力・対抗・競合の3視点から分析。 978-4-7842-1419-8

明治期日本の光と影

阿部 猛・田村貞雄編

A 5判 328頁 予価7,350円 同成社〔10月刊〕

明治期を中心とする近代日本の諸相を、政治・経済・軍事・外交から文化まで、多様なアングルから検証する。

978—4—88621—461—4

明治初期の福祉と教育

慈善学校の歴史

戸田金一著

A 5判 340頁 9,975円 吉川弘文館〔9月刊〕

学制施行期から設けられた貧困子女のための慈善学校。これまでまったく知られていなかった、その全貌を明らかにした初めての書。

978—4—642—03787—7

明治の皇室建築

国家が求めた〈和風〉像 歴史文化ライブラリー-263

小沢朝江著

四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館〔10月刊〕

維新後、洋風化の手本とされた皇族。和風建築の宮殿内部は洋風など、皇室建築に表現されたものは何か。国家が求めた和風空間を探る。

978—4—642—05663—2

史料集 関東大震災下の中国人虐殺事件

今井清一監修 仁木ふみ子編

A 5判 960頁 18,900円 明石書店〔9月刊〕

関東大震災下における在日中国人に対する虐殺事件の実態と背景に迫る史料を日本政府の公的記録の他、中国に伝えられた事件報道などから掘り起こす。978—4—7503—2856—0

福岡県の歴史散歩

歴史散歩40

福岡県高等学校歴史研究会編

B 6変型判 336頁 1,260円 山川出版社〔10月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おまな祭りや年表など付録も充実。

978—4—634—24640—9

人と動物の日本史 1

動物の考古学

西木豊弘編

四六判 280頁 2,940円 吉川弘文館〔10月刊〕

縄文・弥生から近世までの日本人の動物観の移り変わりを、動物絵画など多彩な考古資料で描く。家畜と日本人との深い関わりにも迫る。

978—4—642—06275—6

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

若者に伝えたい中国の歴史

共同の歴史認識に向けて

歩平、劉小萌、李長莉著 鈴木博訳

B 5変型判 240頁 1,890円 明石書店〔8月刊〕

中国の歴史学者が日本の読者に向けて新しく書き下ろしたオールカラーの中国史・日中交流史の入門書。写真・図表も多数収録しビジュアルに解説。978—4—7503—2840—9

中国明末のメディア革命

世界史の鏡 情報4 『水滸伝』『西遊記』『金瓶梅』…

大木 康著

四六判 160頁 1,680円 刀水書房〔10月刊〕

明代末の嘉靖年間、今から約500年前の中国で実現したメディア大革命。『西遊記』など絵入りの読み物が大量に出現したのは、何故だったのか？ 978—4—88708—506—0

イエズス会と中国知識人

世界史リフレット109

岡本さえ著

A 5変型判 96頁 765円 山川出版社〔10月刊〕

明・清代の中国へのキリスト教布教をめぐって生まれたイエズス会士と中国知識人の交流を追いながら、彼らが文化と歴史に与えた影響を考える。978—4—634—34947—6

インドネシアの歴史

インドネシア高校歴史教科書

石井和子監訳 楳沢英雄、菅原由美、田中正臣、山本肇訳

A 5判 412頁 4,725円 明石書店〔8月刊〕

先史時代から現代まで、世界史を除くインドネシア史関連の記述に限定して訳出。ふだん馴染みの薄いインドネシア史の通史として最適な入門書でもある。

978—4—7503—2842—3

ベトナムの歴史

ベトナム中学校歴史教科書
今井昭夫監訳 伊藤悦子、小川有子、坪井未来子訳
A 5判 784頁 6,090円 明石書店(8月刊)

2005年に改訂した最新版の全訳。古代から現代まで、ベトナムの歴史と世界の歴史を並行して教える。

978-4-7503-2843-0

イブラヒム、日本への旅

世界史の鏡 地域10 ロシア・イスラーム世界・日本
小松久男著
四六判 160頁 1,680円 刀水書房(10月刊)

イスラーム世界と明治日本を結んだ、ロシア生まれのトルコ人の足跡。トルコ語・日本語史料を駆使して、アジア主義とイスラームの接点を解き明かす。 978-4-88708-505-3

ヨーロッパの家族史

世界史リブレット117
姫岡とし子著
A 5変型判 96頁 765円 山川出版社(10月刊)

ドイツを中心に家族の歴史の変遷を追い、家族のあり方がいかに多様であったかを示して、近代家族の特徴とその実像を描く。 978-4-634-34955-1

文化史

文化史一般/政治・外交・経済/思想・宗教
教育・科学/文学・美術・芸術/社会生活

武士のエトスとその歩み

武士道の社会学的考察
アレキサンダー・ベネット著
A 5判 290頁 5,040円 思文閣出版(10月刊)

文化人類学者のクリフォード・ギアツによる宗教の定義を援用し、各時代における武士の精神を精査することで、武士文化の発展と変遷の過程を考察。 978-4-7842-1426-6

ゾロアスター教史

刀水歴史全書79
青木 健著
四六判 330頁 2,940円 刀水書房(10月刊)

本邦初の通史を最新の研究成果で綴る。謎の多い古代アリア人の宗教、サーサーン朝国教としての全盛期、ムスリム支配後のインドでの復活から現代へ。978-4-88708-374-5

大系真宗史料 文書記録編 6

蓮如御文
真宗史料刊行会編・岡村嘉史著
A 5判 500頁 予価10,500円 法蔵館(9月刊)

現在確認できる蓮如自筆御文61通と、「蓮崇御文集」「道宗御文集」「蓮能尼御文集」「高田本御文集」、初公開の「林松院御文集」をできるだけ原本に忠実に翻刻し収録。 978-4-8318-5065-2

大系真宗史料 文書記録編 15

近世倫理書
真宗史料刊行会編・平田厚志著・大桑斉著
A 5判 450頁 予価10,500円 法蔵館(9月刊)

江戸時代、浄土真宗の教理教学に基づき学僧が記述した倫理書に、一般の門徒らが記述した通俗教訓書、民衆家訓、日記など16編を収録。「客照問答」「肉食妻帯弁」「農民鑑」他。 978-4-8318-5074-4

北野天神縁起を読む

歴史と古典
竹居明男編
四六判 304頁 2,940円 吉川弘文館(9月刊)

「天神さま」の信仰は、すべてここに始まる…。『縁起』を一つの文学作品として取り上げ、後世への多彩な影響も考えた初めての試み。 978-4-642-07154-3

太平記を読む

歴史と古典
市沢 哲編
四六判 292頁 2,940円 吉川弘文館(10月刊)

南北朝内乱という未曾有の事件を描いた『太平記』の虚構と史実とは。変革の時代のダイナミズムと、文学史上の『太平記』の独自性に迫る。 978-4-642-07155-0

仮名草子集成 第44巻

第44回配本
菊池真一・富田成美・和田恭彦編
A 5判 350頁 18,375円 東京堂出版(9月刊)

案内記・評判記・教訓物・笑話など、多様な仮名草子約250編を収録する。本巻には「世諺問答」「世話支那草」「草葉物語」等、7作品を収める。 978-4-490-30629-3

正倉院宝物に学ぶ

正倉院学術シンポジウムの記録

奈良国立博物館編

四六判 290頁 3,150円

思文閣出版〔10月刊〕

日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、美術史・仏教・建築・歴史の第一線の研究者による3回のシンポジウムの成果。978-4-7842-1439-6

水墨画・墨蹟の魅力

正木美術館編

A 5判 360頁 3,990円

吉川弘文館〔9月刊〕

水墨画や墨蹟は中世美術の精髓とされる。正木美術館の名品は、現代までどのように受け継がれてきたのだろうか。その魅力に迫る。

978-4-642-07907-5

日中美術考古学研究

山本忠尚著

B 5判 308頁 18,900円

吉川弘文館〔9月刊〕

中国の壁画や画像石から、日本への伝播を検証。また石製葬具などの変遷や被葬者との関係から、日本の古墳への受容実態を論究する。

978-4-642-08147-4

小堀遠州の茶会

深谷信子著

A 5判 800頁 予価9,240円

柏書房〔10月刊〕

徳川将軍家の茶道指南役も務めた小堀遠州。その事績を寛永文化史の中に位置づけ、遠州茶会の政治的役割を解明した画期的研究。

978-4-7601-3189-1

日本の民俗 7

男と女の民俗誌

八木 透・山崎祐子・服部 誠著

四六判 296頁 3,150円

吉川弘文館〔9月刊〕

民俗社会における男と女をとりまく意識・規範の移り変わりとは。恋愛・結婚・家庭を軸に描き出し、ふたつの性のこれからを考える。

978-4-642-07874-0

日本の民俗 11

物づくりと技

三田村佳子・宮本八恵子・宇田哲雄著

四六判 300頁 3,150円

吉川弘文館〔10月刊〕

地域を超えたネットワークが技術の伝承を支え、町工場は技術の最先端と職人の技を併せ持つ。現代社会に生きる職人たちの姿に迫る。

978-4-642-07878-8

民間芸能史

五来重著作集7巻

山路興造解説

A 5判 450頁 8,925円

法蔵館〔10月刊〕

永年全国各地を歩いて調査・収集した膨大な民間芸能史を分析し、文献で考証しながら、その歴史と実態を明らかにしていき、庶民信仰の本質と芸能の発生の原点を解明する。

978-4-8318-3413-3

ハシムラ東郷

イエローフェイスのアメリカ異人伝

宇沢美子著

四六判 304頁 2,940円

東京大学出版会〔10月刊〕

20世紀前半の数十年間にわたって、多くのアメリカ人に愛され、憎まれ、そして忘れさられた、ハシムラ東郷とは何者？ その正体がいま、初めて明らかにされる。画期的な文化研究。

978-4-13-083050-8

伝記

評伝 J・G・フレイザー

その生涯と業績

ロバート・アッカーマン著 玉井暁訳

A 5判 580頁 予価5,670円

法蔵館〔9月刊〕

20世紀の人文科学に大きな足跡を残したフレイザーの唯一の信頼できる伝記。『金枝篇』など膨大な著作の執筆・出版に至る経緯から隠された私生活までを丹念に考察。本邦初訳。

978-4-8318-7216-6

地 理

直木孝次郎と奈良・万葉を歩く 秋冬

私の歴史散歩

直木孝次郎著

A 5判 164頁 1,785円

吉川弘文館〔9月刊〕

古代史研究の大家が、歴史散歩とおき14コースを味わい深い達意の文章と豊富な写真で道案内。役立つ付録も満載のガイドブック。

978-4-642-07992-1

雑 誌

日本歴史

9月号（第724）＝8月刊

10月号（第725）＝9月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

A 5判 178頁 各780円 吉川弘文館〔9・10月刊〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の——

人文社会図書新刊案内

2008. 9・10

—青木書店—

平和をつむぐ思想 唯物論研究年誌 第13号 唯物論研究協会編……………A 5判 4,200円 10月

—明石書店—

えほん日本国憲法 しあわせに生きるための道具 野村まり子絵・文 笹沼弘志監修
……………A 4変型判 1,680円 8月

市民から見た裁判員裁判 大河原眞美著……………A 5判 2,940円 9月

人々の資源論 開発と環境の統合に向けて 佐藤 仁編著……………四六判 2,625円 9月

文化、ことば、教育 日本語/日本の教育の「標準」を越えて 佐藤慎司、ドーア根理子編著
……………A 5判 3,990円 9月

柳宗悦と朝鮮 自由と芸術への献身 韓 永大著……………四六判 3,465円 9月

—大月書店—

1995年 未了の問題圖 中西新太郎編/中島岳志、杉田俊介、湯浅誠、雨宮処凛、栗田隆子著
……………四六判 1,900円 9月

9条世界会議の記録 9条世界会議日本実行委員会編……………A 5判 1,800円 9月

がまんしないで、性的不快感 10代のセルフケア⑧
ビクトリア・ショール著/村瀬幸治監修……………四六判 1,400円 9月

ウィリアム・ハーベエイ オックス・フォード 科学の肖像(第10回配本)
オーウエン・ギンガリッチ編集代表……………四六判 2,000円 9月

—東京大学出版会—

映画論講義 連實重彦著……………A 5判 2,730円 9月

心理学 第3版 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃編……………A 5判 2,520円 9月

精神病の病理と治療 ヴィルヘルム・グリーゼンガー著、小俣和一郎・市野川容孝訳
……………A 5判 12,600円 9月

赤ちゃんの視覚と心の発達 山口真美・金沢 創著……………A 5判 2,520円 9月

叢書 実証にもとづく臨床心理学 臨床認知心理学 小谷津孝明・小川俊樹・丹野義彦編
……………A 5判 3,780円 9月

刑法総論 第2版 林 幹人著……………A 5判 3,990円 9月

国境を越える政策実験・EU 政治空間の変容と政策革新2 平島健司編……………A 5判 4,725円 9月

死生学4 死と死後をめぐるイメージと文化 小佐野重利・木下直之編
……………A 5判 2,940円 9月

こころと言葉 進化と認知科学のアプローチ 長谷川寿一・C. ラマール・伊藤たかね編
……………A 5判 3,360円 10月

アメリカ政治外交史教材 第2版 斎藤 眞・久保文明編……………A 5判 2,940円 10月

モビリティと場所 21世紀都市空間の転回 吉原直樹著 …… A 5判 5,670円 10月
 中国の公的年金制度改革 体制移行期の制度的・実証的分析 何立新著 …… A 5判 7,140円 10月

— 法 藏 館 —

自分の「心」に気づくとき —カウンセリングの対話から— 讀 西賢著 …… 四六判 1,680円 9月
 法蔵菩薩の誓願 —無量寿経講義第1巻— 本多弘之著 …… A 5判 9,450円 9月
 親鸞思想の原点 —目覚めの原理としての回向— 本多弘之著 …… A 5判 2,940円 10月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

文学のなかの考古学

門田誠一著

佛敎大学鷹陵文化叢書 ⑩

小説や古典芸能、民話、民謡などに描写された考古学的要素や、それらの背景となった歴史のあるいは文化的な背景について、考古学的に接近を試みる。
 図版多数

博仏の来た道

白鳳期仏敎受容の様相

後藤宗俊著 「博仏の来た道」を丹念にたどり、その途上に浮かび上がる玄奘・道昭・法蓮などの偉大な僧の信仰と人間像に迫る。虚空蔵寺跡の調査に携わった著者が考古学・美術史・文献史学などの領域にわたって学際的に探究。

〔11月刊行〕 ▼A 5判・三二〇頁／定価五、九八五円

正倉院宝物に学ぶ

奈良国立博物館編 正倉院学術シンポジウムの記録
 日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、美術史・仏敎・建築・歴史の第一線の研究者による3回のシンポジウムの成果。

〔最新刊〕 ▼四六判・三六〇頁／定価三、一五〇円

正倉院展60回のあゆみ

奈良国立博物館編 60回を数える正倉院展の歩みを、各回の主な出陳宝物図版や特徴・エピソード・出陳一覧などのデータと、研究者によるエッセイでたり、毎回の図録に付されている用語解説を整理・集大成して巻末に付す。

〔最新刊〕 ▼A 4判・二八八頁／定価三、一五〇円

源氏物語 千年のかがやき

国文学研究資料館編 新出の国文学研究資料館蔵『源氏物語団扇画帖』全54枚などをカラーで掲載し、詳細な解説を付す。描く・書き写す・鑑賞するという3つの観点から、源氏物語がどのように享受されてきたのかを紹介。

〔最新刊〕 ▼A 4判・一六八頁／定価一、九九五円

思文閣出版 〒606-8203 京都市左京区田中関町2-7 ☎075(751)1781 呈内容見本
<http://www.shibunkaku.co.jp/> F 075(752)0723 (価格は税5%込)

やっと秋らしくなってきました。“読書の秋”といえは、歴懇恒例の「歴懇リバイバルフェア」を今年も全国の書店様のご協力で、北海道から九州まで全国で開催中です（参加書店さんのお名前は20～21ページをご覧ください）。今年は8社で40点の名著・貴重書・基本図書を復刊致しました。是非、お近くのフェア参加書店さんにお立ち寄り下さい。

東京では、11月1日（土）・2日（日）・3日（月）の3日間「第18回神保町ブックフェスティバル」が開催されます。歴史書懇話会も、ちょっと汚れた本・旧定価本などを、お祭り3日間だけの特別価格で2台のワゴンに並べます。どうぞお越し下さい。

さて、歴史書懇話会は今年40周年。40年前の1968年は、3月ベトナムで「ソンミ事件」、5月フランスで学生たちがカルチエ・ラタンを占拠「5月危機」、10月日本で国際反戦デーの日に学生たちの新宿駅占拠（騒乱罪適用）。…日々の出来事を歴史に照らして確かめるために、又、日々の出来事に流されないように、この秋も歴史書をひもといてみませんか？

.....

読書の秋の歴史書懇話会のフェアをご案内致します。

- 月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェアを4書店で開催中（2006年7月から）です

◇TENDO 八文字屋（天童市）／◇東北学院大学土樋店（仙台市）／

◇紀伊國屋書店新潟店（浦和新潟市）／◇今井書店グループセンター店（松江市）

話題の本、書評に取り上げられた本、受賞した本、今買わないと品切れになってしまう本、etc.を、その折々に各社が選んで提供しています。

- 東京堂書店本店「源氏物語とその時代フェア」（1階～3階）9月～11月
「源氏物語千年紀」を記念して入門書から、時代背景が深く読み込める歴史書までの大フェアが開催されています。11月8日（土）には国文学研究資料館館長伊井春樹先生の講演会が東京堂書店6階で開催されます。詳細は東京堂書店へ（電話03-3291-5181）お問い合わせ下さい。

- ジュンク堂書店新宿店で、昨秋から「これが歴史書だ！」フェアが続いています。

第10回目「幕末維新时期」9月1日～10月15日

第11回目「大日本帝国の躍進と壊滅」10月16日～11月30日

- 『文化遺産・地名フォーラム記念フェア』10月中旬～11月
くまざわ書店奈良店・啓林堂書店の奈良店・奈良三条店・西大寺店の4書店で開催

- 広島大学生協北1 コープショップ「歴懇歴史書基本図書フェア」
11月4日～12月27日

- ◆連続講座のお知らせ

毎月連続の「同成社歴史学講座」が始まりました。講師は大濱徹也先生（筑波大学名誉教授）、テーマは「天皇と日本の近代」、明治維新以降の近代日本における天皇をめぐる。会場は日本出版クラブ外。詳細は同成社へ（電話03-3239-1467吉田宛）。

第1回：10月18日（土）／第2回目：11月8日（土）／第3回目：12月20日（土）

歴史書懇話会40周年記念

歴懇リバイバル2008

秋の共同復刊企画

- * 名著・貴重書・基本図書を復刊！
- * 日本史を中心に考古学、宗教史、世界史、国文学、伝記など幅広いラインナップ！
- * いずれも少部数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- * 復刊書目は2008年10月1日現在 8社40点。

主催：歴史書懇話会

発売：2008年10月上旬

学 生 社	03-3857-3031	刀 水 書 房	03-3261-6190
思 文 閣 出 版	075-751-1781	埴 書 房	03-3812-5821
東京大学出版会	03-3811-8814	法 藏 館	075-343-5656
東 京 堂 出 版	03-3233-3741	吉 川 弘 文 館	03-3813-9151

※著者名につづく()は初版年、出版社名につづく[]は分類を示します。

出雲大社	第82代出雲国国造が従来固く秘められてきた神秘的な「火継式」や「古代新嘗祭」などの金貌をはじめて公開し、その他の特殊な出雲の祭りなどを解説。 978-4-311-40715-4
千家尊統著 (1998)	
四六判 262頁 2,310円	学生社〔古代史〕
古代の鉄と神々	記紀神話や銅鐸祭祀に隠されていた古代鉄文化と祭祀の原像を掘り起こし、稲作文化の視点からではわからなかった日本古代史の謎を解明する。 978-4-311-20212-4
真弓常忠著 (1997)	
四六判 240頁 2,310円	学生社〔考古学〕
三輪山の神々	神体山と磐座信仰とは何か?ヤマト王権発祥の地で、古代祭祀から国家成立の謎に迫る。日本の古代の姿を古代信仰から解き明かす。
上田正昭他著 (2003)	
四六判 226頁 2,079円	学生社〔考古学〕 978-4-311-20261-2
三輪山の古代史	神体山・三輪山の麓に広がる大和政権とは?三輪山をご神体とする大神神社、万葉の舞台山の辺の道など、日本の古代の姿を文献史学から解明。 978-4-311-20262-9
上野 誠他著 (2003)	
四六判 208頁 2,079円	学生社〔考古学〕
棟札の研究	寺社の上棟式・大修理のさい棟木に打ち付ける棟札。歴民博の調査報告書をもとに、棟札の意味・価値など多方面から検討し、研究の整理と方向性を示す。 4-7842-1243-4
水藤 真著 (2005)	
A 5判 220頁 3,990円	思文閣出版〔建築史〕
歴史と歴史学	歴史とは何か、歴史学とはどのような学問か、という古くて新しい問題について考察。独自の立場からの史学概論として、歴史学を志す学徒にとって好適の入門書。 978-4-13-006048-6
斎藤 孝著 (1975)	
四六判 210頁 2,310円 東京大学出版会〔歴史一般〕	
源氏物語の世界	女流文学の形成に筆をおこし、源氏物語における人間造型の方法と、紫式部の思考と文体を明らかにし、さらに枕草子を論じて、平安文学の本質にせまる。 978-4-13-080036-5
秋山 虔著 (1964)	
A 5判 440頁 6,300円 東京大学出版会〔中世史〕	
荘園の世界	中世の民衆の生活の場、荘園。中世の各時期の典型的な荘園を取上げ、荘園を一つの世界として、権力と闘い、生産にいそしみ、生活を楽しむ民衆の姿を描き出す。 978-4-13-006014-1
稲垣泰彦編 (1973)	
四六判 350頁 2,520円 東京大学出版会〔中世史〕	
合本 源氏物語事典	源氏本文中の重要事項3000項目を注釈・解説し、注釈書解題・諸本解題・所引詩歌仏典・作中人物解説・人物呼称一覧・年表・図録を収録した大著。 978-4-490-10223-9
池田亀鑑編 (1960)	
B 5判 1,188頁 2,6250円 東京堂出版〔国文学〕	
源氏物語注釈書・享受史事典	平安末期から幕末までの注釈書525点の詳細な解題と享受の歴史を年月日順に克明に追いつ、巻末に100頁に及ぶ書名・人名索引を付した。 978-4-490-10591-9
伊井春樹編 (2001)	
菊判 832頁 18,900円 東京堂出版〔国文学〕	

江戸時代の古文書を読む 元禄時代
徳川林政史研究所監修 (2002)

B 5 判 136頁 2,520円 東京堂出版〔近世史〕

「生類憐み令」や武士の日常を記す「鸚鵡籠中記」など、史料4点の原文を掲げ、脚注をつけ、解説・読み下し文を付し、史料の解説も施した。 978-4-490-20465-0

ルクセンブルクの歴史—小さな国の大きな歴史
G.トラウシュ著／岩崎允彦訳 (1999)

四六判 250頁 2,940円 刀水書房〔世界史〕

中世ルクセンブルク伯の城塞から出発、2度の世界大戦をくぐり抜けて、いまや原加盟国の一国としてEUを支える、人口45万の不思議な国。本邦唯一の通史！ 978-4-88708-239-7

ハプスブルク帝国史—中世から1918年まで
G.シュタットミュラー著／矢田俊隆解題・丹後杏一訳(1989)

A 5 判 246頁 2,940円 刀水書房〔世界史〕

ハプスブルク朝800年の歴史。欧州全域にまたがる大国家の政治・外交・民族問題を注視、第1人者によるコンパクトな名著。 978-4-88708-106-2

藤原鎌足

田村園澄著 (1966)

新書判 214頁 945円 塙書房〔伝記〕

改新の支柱として以後の国家観念の規底を創出したイデオログ鎌足の人間像を、7世紀日本の直面した対内外政治危機の中に浮き彫りにする。 978-4-8273-4003-7

西行の世界

山木幸一著 (1979)

新書判 230頁 998円 塙書房〔文化史〕

山里に止住し、山野海辺に漂泊し、内面の悲哀と苦悩を痛切に味わって生きた西行、その独自のいろどりをもつ詩情の感動を、見事によみがえらせた好著。978-4-8273-4057-0

幕藩社会と商品流通 (OD版)

中井信彦著 (1961)

B 6 判 251頁 2,940円 塙書房〔近世史〕

商品流通という特定の視角から、幕藩制社会の構造的発展と崩壊の過程を概観する。 978-4-8273-3511-8

日本古代村落史序説 (OD版)

吉田 晶著 (1980)

B 6 判 304頁 3,360円 塙書房〔古代史〕

70年代の首長制論をふまえ、文献史料によって7・8世紀の古代村落の具体相を可能なかぎり追究する。 978-4-8273-3585-9

改訂 補陀落渡海史

根井 浄著 (2001)

A 5 判 788頁 16,800円 法蔵館〔仏教史〕

生きながら南方の観音浄土をめざす特異な習俗の全貌を、多数の新出史料と絵画史料で初めて解明。 4-8318-7569-3

本願寺教団の展開 戦国期から近世へ

青木忠夫著 (2003)

A 5 判 488頁 10,500円 法蔵館〔仏教史〕

新たに発掘した証如・顕如真筆史料等から戦国期の本願寺と木曾川中流域の真宗教団の展開を評述。 4-8318-7479-5

美術のアイデンティティー 誰のために、何のために

佐藤道信著 (2007)

A 5 判 224頁 4,095円 吉川弘文館〔美術史〕

美術は誰のため、何のためにつくられ、どこに向かうのか。東西の「美術史」展示、戦後の日本美術の社会構造の検証などから新たな視点で捉え直す。 978-4-642-03778-5

誕生と死の民俗学

板橋春夫著 (2007)

A 5 判 334頁 8,925円 吉川弘文館〔民俗学〕

「生まれ変わり」と「靈魂」で説明されがちな人生儀礼研究を振り返り、具体的民俗事象から「いのち」に関する日本人の思考や認識のあり方を解き明かす。 978-4-642-08191-7

徴兵制と近代日本1868—1945

加藤陽子著 (1996)

四六判 290頁 3,045円 吉川弘文館〔近代史〕

国家が国民に強制する兵役義務＝徴兵制は、国民と社会にどんな影響を与えたか。徴兵令制定—兵役法廃止まで、軍部・政府間の攻防を描く。 978—4—642—07496—4

蘇我蝦夷・入鹿 (人物叢書)

門脇禎二著 (1977)

四六判 168頁 1,575円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

悪逆非道の元兇とされてきた人間像を、7世紀前半～中葉の古代国家形成期の政治状況の中で再評価した画期的名著。 978—4—642—05006—7

和気清麻呂 (人物叢書)

平野邦雄著 (1964)

四六判 266頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

備前の土豪から身を起し、宮廷政治の優れたオルガナイザーとして新時代の開拓者となった清麻呂の生涯を、綿密な史料調査によって描く。 978—4—642—05030—2

円仁 (人物叢書)

佐伯有清著 (1989)

四六判 312頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

在唐十年、未曾有な体験を持つ名僧の伝記。最澄の門弟として天台密教を弘めた強靱な精神に支えられた生涯を詳細に描く。 978—4—642—05158—3

円珍 (人物叢書)

佐伯有清著 (1990)

四六判 308頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

天台座主智証大師円珍の生涯を克明にたどった初の詳細な伝記。当時の政治状況の中で行動する姿などを新たな視点から描く。 978—4—642—05192—7

紀貫之 (人物叢書)

目崎徳衛著 (1961)

四六判 216頁 1,890円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

万葉復古の風潮で急頓落した王朝歌壇の偶像の生涯と業績を検討し、再評価の先駆をなした伝記。 978—4—642—05018—0

源頼光 (人物叢書)

籾谷寿著 (1968)

四六判 234頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

酒吞童子退治で有名な頼光の、武勇に秀で処世の術にもたけた生涯を、説話等をも巧みに織りまぜて、時代の上に浮彫りしたユニークな伝記。 978—4—642—0516—6

源義家 (人物叢書)

安田元久著 (1966)

四六判 214頁 1,890円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

武門の棟梁として威名天下に轟き、武勇の神と仰がる。その歴史的生涯を史実に基づいて究明した“八幡太郎”伝の決定版。 978—4—64—05166—8

西行 (人物叢書)

目崎徳衛著 (1980)

四六判 200頁 1,890円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

知られなかった多くの史実を明らかにし、古代末期の波瀾の時代に生きた「数奇の遁世者」西行の全貌を平易に描く。 978—4—64—205178—1

法然 (人物叢書)

田村圓澄著 (1959)

四六判 270頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

浄土宗の開祖法然は、日本仏教史の転回点に立つ。あるがままの人間法然を描き、執拗な弾圧に抗する苦悩と実践とを追求する。 978—4—642—05120—0

北条泰時 (人物叢書)

上横手雅敬著 (1958)

四六判 230頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

御成敗式目の制定者、稀代の名執権と謳われる。その誠実と苦悩の人間像を、承久の乱と武家政権の確立をはかる激動の時代を背景に描く。 978—4—642—05135—4

- | | |
|---|---|
| <p>親鸞（人物叢書）
赤松俊秀著（1961）
四六判 372頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕</p> | <p>肉食妻帯を自ら実践し、真の民衆宗教を樹立した傑出した宗教家。異説多い親鸞伝の諸問題を解明した名著。
978-4-642-05003-6</p> |
| <p>前田利家（人物叢書）
岩沢愿彦著（1966）
四六判 380頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕</p> | <p>加賀百万石の藩祖前田利家の実録。信長・秀吉から家康へ、変転する動乱の世を生き抜いた勇気と誠実の人。その真面目を浮彫にする。
978-4-64-205133-0</p> |
| <p>近松門左衛門（人物叢書）
河竹繁俊著（1958）
四六判 236頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・近世〕</p> | <p>「劇作家の氏神」と称せられる近松の、不明とされた素性と生涯を、歌舞伎研究に畢生の努力を傾けた著者が、作品織り成して巧みに浮彫にする。
978-4-642-05121-7</p> |
| <p>徳川吉宗（人物叢書）
辻達也著（1958）
四六判 230頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・近世〕</p> | <p>江戸幕府中興の英主、幕藩体制転換期の象徴的將軍。その生涯と施政描き享保改革の実態を究明する。
978-4-642-05007-4</p> |
| <p>清沢満之（人物叢書）
吉田久一著（1964）
四六判 268頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記・近代〕</p> | <p>明治仏教界の明星、今親鸞。近代日本の哲学思想に偉大な感化を与えた宗教的天才の思想と生涯を描く。
978-4-642-05035-7</p> |
| <p>乃木希典（人物叢書）
松下芳男著（1960）
四六判 226頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・近代〕</p> | <p>軍神と崇められる明治の象徴的將軍。その古武士的風格と冷厳な家庭生活を併せ描く人間乃木の実伝。
978-4-642-05023-4</p> |
| <p>渋沢栄一（人物叢書）
土屋喬雄著（1989）
四六判 296頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・近代〕</p> | <p>日本資本主義の父といわれる渋沢栄一。近代日本の発展に多大な役割演じた大実業家の生涯を、時代の息吹と共に鮮明に描く。
978-4-642-05159-0</p> |
| <p>南方熊楠（人物叢書）
笠井清著（1967）
四六判 370頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・近代〕</p> | <p>奇行に富む型破りの非凡な学者！海外及び帰国後の全生涯を生物学・民俗学の業績とあわせ描く。
978-4-642-05014-2</p> |

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴懇リバイバル'08 フェア店一覧

*は歴史書懇話会特設店 2008年10月7日現在

札幌市	紀伊國屋書店札幌店	横浜市	有隣堂書店東口店
札幌市	北海道大学生協書籍部 クラーク店	藤沢市	有隣堂藤沢店
弘前市	紀伊國屋書店弘前店	*長野市	平安堂長野店
秋田市	ジュンク堂書店秋田店	*金沢市	うつのみや本店
盛岡市	ジュンク堂書店盛岡店	*金沢市	リプロ金沢店
*仙台市	ジュンク堂書店仙台店	*富山市	Books なかだ本店
仙台市	丸善仙台アエル店	新潟市	紀伊國屋書店新潟店
仙台市	東北大学生協文系 書籍部店	新潟市	ジュンク堂書店新潟店
郡山市	岩瀬書店富久山店	静岡市	谷島屋呉服町本店
水戸市	川又書店駅前店	*豊橋市	精文館書店
つくば市	丸善筑波大学厚生会館 書籍部第一学群店	岐阜市	自由 EX 高島屋店
つくば市	丸善筑波大学会館店	*名古屋市	ちくさ正文館
*前橋市	煥乎堂本店	*名古屋市	ウニタ書店
前橋市	文真堂書店ブックマンズ アカデミー 前橋店	津市	別所書店修成店
*さいたま市	須原屋本店	大津市	大垣書店大津一里山店
さいたま市	ブック・デポ書楽	*京都市	ジュンク堂書店京都店
千代田区	有隣堂秋葉原店	京都市	ジュンク堂書店 京都 BAL 店
*千代田区	岩波ブックセンター 信山社	京都市	法藏館
千代田区	三省堂書店神田本店	京都市	アバンティ・ ブックセンター
*千代田区	東京堂書店本店	京都市	同志社大学生協書籍部 今出川店
千代田区	三省堂書店政文堂	京都市	立命館大学生協存心館店
文京区	東京大学生協本郷店 書籍部	京都市	京都大学生協吉田 生協会館
目黒区	東京大学生協書籍部 駒場店	京都市	京都大学生協ブック センタールネ
渋谷区	國學院大学生協	京都市	ブックファースト京都店
新宿区	ジュンク堂書店新宿店	京都市	仏教大学書籍部 (大垣書店)
*新宿区	芳林堂書店高田馬場店	奈良市	くまざわ書店奈良店
*豊島区	ジュンク堂書店池袋店	大阪市	ジュンク堂書店梅田店
豊島区	リプロ池袋店	*大阪市	ジュンク堂書店大阪本店
		*大阪市	旭屋書店本店

大阪市	ジュンク堂書店天満橋店	岡山市	紀伊國屋書店岡山
* 大阪市	ジュンク堂書店難波店		クレド店
大阪市	喜久屋阿倍野店	岡山市	フタバ図書岡山青江店
豊中市	大阪大学生協書籍部	倉敷市	喜久屋書店倉敷店
和歌山市	宇治書店	広島市	フタバ図書 MEGA
* 神戸市	ジュンク堂書店三宮店		祇園中筋店
神戸市	海文堂書店	広島市	ジュンク堂書店広島店
神戸市	ジュンク堂書店	* 広島県	フタバ図書 TERA
	三宮駅前店		広島府中店
西宮市	ジュンク堂書店西宮店	山口市	文榮堂本店
姫路市	ジュンク堂書店姫路駅店	松山市	愛媛大学生協
明石市	ジュンク堂書店明石店	* 福岡市	ジュンク堂書店福岡店
鳥取市	今井書店吉成店	福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
米子市	本の学校今井ブック	福岡市	丸善福岡店
	センター	大分市	ジュンク堂書店大分店
松江市	今井書店グループ	鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店
	センター店		

市民の考古学

(四六判)

⑤ 倭国大乱と日本海

甘粕健編 弥生時代から古墳時代にかけて「倭国大乱」期の日本海域の動向を考古学的に分析する。一五五円

⑥ 考古学でつづる世界史

藤本 強著 東と西、住環境の違いなどに焦点をあて、ユーラシア大陸の歴史をダイナミックに解説する。一八九〇円

古代史選書

(A5判)

① 古代瀬戸内の地域社会

松原弘宣著 律令国家の地方行政制度のなかに瀬戸内地域がどのように組み込まれていったのか、地方豪族たちに焦点をあてつつ、その実態を解明する。一四〇〇円

古代地域社会の考古学

坂井秀弥著

A5判・箱入・一六四〇円

起源の日本史・前近代篇

阿部 猛著

四六判・一八九〇円

縄文時代の考古学 全十二巻 (第八回配本)

③ 大地と森林の中で ―縄文時代の古生態系
小杉・谷口・西田・水ノ江・矢野編 B5判・五五〇円

シリーズ日本の遺跡(最新刊) 菊池徹夫・坂井秀弥企画 監修(四六判)

③ 志波城・徳丹城跡

古代陸奥国北端の二城柵

西野 修著・一八九〇円

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
<http://homepage3.nifty.com/dousensha> E-mail dousensha@nifty.com



歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|-------|---|
| 旭屋書店 | 札幌店 | 〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5
ステラプレイス5F
☎011-209-5181 |
| ジュンク堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1
☎022-265-5656 |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥平堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎027-235-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5F1ビル
☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京都店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角
☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6
☎06-6313-1191 |
| ジュンク堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20
堂島アバンザ1～3F |

ジュンク堂書店	難波店	☎06-4799-1090 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. N A M B A ビル
ジュンク堂書店	三宮店	☎06-6635-5330 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
フタバ図書	T E R A	☎078-392-1001 〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
りーぶる	天神	☎082-561-0770 〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッパーズプラザ6F
ジュンク堂書店	福岡店	☎092-713-1001 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神MMTビル
		☎092-738-3322

2008年10月現在

歴史書懇話会ホームページ http://www.hozokan.co.jp/rekikon/	
歴史書懇話会会員社ホームページ	
青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
大月書店	http://www.otsukishoten.co.jp/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

限りなく広がる知識の世界 辞典700点突破!

日本家系・系図大事典

精細な系図を豊富に掲載した比類ない充実した家系事典の決定版! 著者渾身の大作!



菊判 二〇四頁
定価 二六〇〇円

浮世絵大事典

国際浮世絵学会編
膨大な浮世絵の情報を冊に簡便にまとめ、最新の研究成果を盛り込んだ初の大事典!



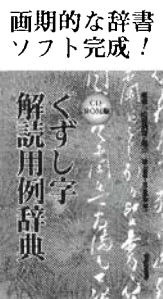
B5判 七〇八頁
特別定価 二六二五〇円
(08年10月末日まで)

特価期限迫る!
定価 二九四〇〇円

奥富敬之著 日本史上で知られている著名な姓氏・名字三三八について諸史料よりその由来、発祥(源流)、変遷過程、分布などを詳しく解説し、約四五〇〇の家系に言及し、豊富な系図を掲載した比類ない大事典。

本事典では浮世絵の絵師や作品・画題だけではなく、彫摺・様式・風俗・芸能など最新の研究成果を盛り込み、幅広く収録。江戸期から近現代まで網羅。執筆者1333名、総項目1633項目も及ぶ、浮世絵の鑑賞、研究に最適な事典である。

CD-ROM版・詳細内容見本進呈
くずし字解読用例辞典



辞書完成!
解読用例辞典

山田奨治・柴山 守編
好評のロングセラー「くずし字解読」用例両辞典の検索方法を同時に使える画期的な辞書ソフトである。調べたい文字をキーボード入力すると候補のくずし字が即座に一覧で表示される。 価格 二九四〇〇円

東京の散歩道



A5判 152頁

読売新聞東京本社地方部内信課編
江戸文化を残す地域や大都会の中の癒しの空間など東京の「隠れた名所」スポット一四一をオールカラーで紹介する。 定価 一八九〇円

城郭の見方・調べ方
ハンドブック



菊判 232頁

西ヶ谷恭弘編著 他著
建築・土木・歴史の切り口から城郭の見方・調べ方を詳細に解説。最新の成果をもとに四〇〇点にも及ぶ写真・図版を掲載している。 定価 二五二〇円

能楽史年表 近世編上巻



A5判 412頁

鈴木正人編 表 章序文 古代・中世編に続き近世編全三巻を刊行。近世編上巻では、慶長四年(一六八〇年)から貞享四年(一六八七年)まで江戸期の豊富な能楽関係資料より五六〇〇余項目を採録した。一五七五〇円

東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
電話03-3233-3741 FAX03-3233-3746
http://www.tokyodoshuppan.com

(価格税込)

21世紀の「世界史百科」を目指す！〔内容見本呈

世界史の鏡

樺山紘一編

このシリーズは、いま歴史の現場にいる歴史家たちが、地域・国家・都市・情報・環境の五つの切り口から語る新しい世界史です。20世紀の終幕まで見えなかつた「現在」と、現在にいたる世界史の新鮮な驚きに二期待下さい。

各巻 四六並製 一六〇頁 ￥一六八〇

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

世界の中から歴史家が集まって議論をしてきたの百年。その苦悩と喜悦

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年

樺山紘一著 〇巻 ★昨年11月初回配本

第44回日本翻訳出版文化賞受賞

中世歴史人類学試論

身体・祭儀・夢幻・時間

J・C・シュニット著／渡邊昌美訳 A5箱 四五〇頁 ￥七三三〇
アンナール派第四世代の第一人者シュニットが過去20年の研究を世に問う。中世民衆への関心から「歴史人類学」を提唱する歴史家の軌跡！

毎月刊行予定

イタリア都市の諸相 都市は歴史を語る

野口昌夫著 都市4 ★1月第3回配本

歴史が腑になつて見えるイタリア都市！ 成り立ちから読み解く

本を読むデモクラシー 読者大衆の出現

宮下志朗著 情報3 ★3月末第4回配本

庶民はいつ頃から本を読むようになったのか？

ナイル 地域をつむぐ川

加藤 博著 地域7 ★7月第5回配本

人種と民族のつばに暮らす人々が紡ぎ出す川と砂漠の世界

イブラヒム、日本への旅 ロシア・トルコ・日本

小松久男著 地域10 ★10月第6回配本

イスラーム世界と明治日本を結んだロシア生れのトルコ人の足跡

新刊

ゾロアスター教史

青木 健著

古代ペルシア 中世ペルシア 現代インド (刀水歴史全書79)

教祖ザラスシュトラから現在まで、最新の研究成果で綴る通史

宗教学必須用語22

M・C・テイラー編／奥山倫明監訳

現代の宗教を考える折の座右の書に！

A5箱 六二四頁 ￥八四〇〇

「ヨーロッパ」とは何が？

L・フエーヴル著／長谷川輝夫訳

A5箱 四六六頁 ￥五九八五

フエーヴルがバリ解放直後から行なつた連続講義のノートを、現代世代が整理・編集。古代から現代まで、アジア・アフリカをも捉えながら、人類史の中にヨーロッパ論を展開した壮大な文明論！

不敗の農民運動家矢後嘉蔵

岩本由輝解題 北山郁子編

A5箱 五一〇頁 ￥七三三〇

江戸期以来の耕作権重視の慣行(永小作)に開き、訴訟で農民を守つた富山の農民運動家

歴史の風

史学会編

四六上製 二九四頁 ￥二九四〇

「史学雑誌」好評連載の「コラム 歴史の風」が1冊になりました！ 毎年5回、11年間55人の歴史家による歴史エッセイの「饗宴」！

アーカイブズへの眼

大濱徹也著

A5上製 二二二頁 ￥二二二〇

記録の管理と保存の哲学

復刻雑誌「兵隊」

南支派遣軍報道部刊

大濱徹也解題

推薦者 木村尚三郎・小沢昭一 鶴見俊輔・石田 一郎
四六倍判・36冊4合本・一九四二頁 投稿者三三七四名 ￥三万一千五〇〇
日中戦争中、広東の南支派遣軍にあつた兵隊が自由に投稿できる雑誌。戦場で紡ぎだされた人間性の流れが凝縮。ありのままの戦争を知るための第一級の史料(内容見本呈)

PR誌

「刀水」

No.11

「鼎談」続「雑誌」兵隊」を読む

石田一郎・大濱徹也・田中 綾 短歌・兵隊の自己表現・戦争と平和・兵隊と将校……(無料贈呈)。「2008年出版目録」を兼ねています

【価格は税込】 千代田区西神田2-4-1 東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234 http://www.toushisshobou.com

史学会シンポジウム叢書 11月上旬発売

A5判 ソフトカバー装 予価4200円

日唐律令比較研究の新段階

大津透 編 律令制研究の最前線から、その史料の性格や日本の律令制の特色などについて、様々な視点で論ずる。

「人のつながり」の中世 村井章介 編

中世における主要な社会集団である公家・武士・寺院社会の自己認識や秩序体制を、「人のつながり」という視点で探る。

山川歴史モノグラフィ

11月上旬発売 A5判 予価5250円

アラブ系譜体系の誕生と発展

高野太輔 著 史料に残る系譜集団と系譜学史の概要をまとめ、7世紀から8世紀のアラブ社会に存在した系譜集団の実態を解明する。

民主政アテナイの賄賂言説

佐藤昇 著 市民平等の理念が実現された古代ギリシアのポリス、アテナイの民主政。しかし現実には格差が存在していた。「賄賂」という現象を手がかりに、「民主政」の実像を照らし出す。

史料を読み解く

B5判 各1995円

文書・記録の読解方法を解説した実用的なテキスト。史料から歴史像をどのように読み解いていくかを、丁寧に解説する。

- 1 中世文書の流れ 久留島典子／五味文彦 編
- 2 近世の村と町…………… 森下 徹／吉田伸之 編
- 3 近世の政治と外交…………… 藤田 寛 編

日本史

〔新版世界各国史Ⅰ〕

宮地正人 編

原始時代から現代までの日本の歴史を、東アジア地域世界とのかかわりのなかで叙述する。時代の転化過程を明確にしながら最新の研究成果をもとに再構成。 四六判 33885円

改訂版 詳説日本史研究

〔特装版〕

佐藤信／五味文彦／高埜利彦／島海靖 編

A5判 上製カバー装 560頁(オールカラー) 35000円
教科書をもとにした日本通史の決定版。全時代・分野を詳しく丁寧に解説。カラー写真や図版も豊富に掲載し、わかりやすく編集。歴史の知識を深めるのに最適な一冊です。

2009年版

山川 歴史手帳

10月中旬発売…… 735円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

現代語訳

吾妻鏡

読める。わかる。面白い。各紙絶筆、全16巻・刊行中
五味文彦・本郷和人編 (内容案内送呈)

奥州合戦

義経・平泉に死す！ 朝朝は自ら
奥州へ向け出陣、藤原氏四代の
栄華滅ぶ。2100円・9月の新刊
①頼朝の参兵 2310円
②平氏滅亡 2415円
③頼朝と朝廷 2310円

吾妻鏡必携

関 善彦 解説
野口 実雄 の解説 系図、関係地図、合戦一覧など
3780円
①基礎知識を演説。②9月の新刊

蝦夷と東北戦争

戦争の日本史3
鈴木邦著 伊治公孫麻呂の乱や、阿闍梨と坂上田村麻呂の戦いなど、八世紀〜九世紀に主なる幾多の戦乱を検証。蝦夷支配の真実を描き出す。第20回
2625円・10月の新刊

歴史文化ライブラリー

262 それでも江戸は鎖国だったのか オランダ館
片桐一男著 カビタン の宿 長崎屋 異文化交流のサロンの全貌を描く。1785円・10月の新刊
日本橋屋

明治の皇室建築

261 國家が求めた「和風」
明治宮殿・東宮御所・皇山御用邸・行在所。近代天皇の「住まい」は、いかに造られたのか。
1785円・10月の新刊
小沢朝江著

日本の民俗

全13巻刊行中
内容案内送呈
①男と女の民俗誌 9月の新刊
②物づくりと技 10月の新刊
八木 透山 崎野子 服部 誠著 第4回

よくわかる古文書教室

佐藤孝之監修 佐藤孝之・栗松幸男・宮原一 郎著 2520円
江戸の書つととなりわい
こんなテキストを待っていた。
これから始める方にも最適！
天野出版社発行、吉川弘文館発売

誰でも読める

日本現代史年表

ふりがな付き

徹底内閣全連組員、疏攻工業、井島炭鉱、下釜タム吉久鉦山……。あなたはいくつ読めますか？

吉川弘文館編集部 とう読めば良いのかわからない現代史の人名や用語、その全てにふりがなを付けた便利で詳細な年表。一九四五〜二〇〇四年をおさめる「国史大辞典」と連動した索引を付載する。4410円・10月の新刊

全5冊 完結

古代史年表 5985円
中世史年表 5040円
近世史年表 4830円
近代史年表 4410円

歴史研究七〇年。ロマンに満ちた古代の多彩なテーマを集大成。

直木孝次郎 古代を語る

全14巻 刊行開始 (毎月1冊 刊行予定)
*豪華約紙装、詳細は販売部まで
①邪馬台国と卑弥呼
②神話と古記・日本書紀
③伊勢神宮と古代の神々
④大和政権と古代内権
⑤古代國家の形成
⑥万葉集と歌人たち
⑦奈良への道
⑧古代への道
⑨飛鳥の都
⑩飛鳥寺と法隆寺
⑪古代難波とその周辺
⑫難波宮の歴史と保存
⑬万葉集と歌人たち
⑭奈良への道
⑮古代への道

私の歴史散歩

古代史研究の大家おすすめのとっておき14コース、直木孝次郎と奈良・方葉を歩く 秋
味わい深い意匠の文章と豊富な写真で道案内格好のガイドブック。1785円・9月の新刊

歴史と古典

古典の世界に新しい可能性を切り拓く。(内容案内送呈)
全10冊刊行中 第5巻6回同時発売 各2940円

北野天神縁起を読む

竹屋明男編
大神さまの信仰は、すべてここに始まる。文学作品として読み解いた、初の試み！
市沢 哲編 物語「太平記」の虚構と史実！変革の時代のダイナミズムと文学史上の「太平記」の独自性に向える。(第6回) 10月の新刊

太平記を読む

人と動物が織り成す歴史から日本人の生活・習慣文化に迫る初の試み！

人と動物の日本史

全4巻 刊行開始
西本豊弘編 考古遺物から、日本人と動物の生活を描く。(第1回) 2940円・10月の新刊

動物の考古学

①歴史のなかの動物たち：中澤克昭編 ②動物と現代社会：菅 豊編 ③信仰のなかの動物たち：中村生雄・三浦佑之編

愛用されて半世紀。歴史手帳 2009年版 900円 10月下旬発売



吉川弘文館

2008年版「出版図書目録」送呈 (表示価格は税込)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 / 電話 03-3813-9151
FAX 03-3812-3544 http://www.yoshikawa-k.co.jp/

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12(板橋営業所)〈担当者・古川 浩〉
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5〈担当者・千葉陽介〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3〈担当者・石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9〈担当者・大和定幸〉
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14〈担当者・林 義則〉
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14〈担当者・竹内茂善〉
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中岡田町2-7〈担当者・中江俊治〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1(東大構内)〈担当者・角田光隆〉
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17〈担当者・馬場辰也〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1〈担当者・中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8〈担当者・吉田幸一〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16〈担当者・榎 祐典〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入〈担当者・西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13〈担当者・西田 智〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8〈担当者・横井真木雄〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2008年11月1日発行・第180号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店